

ハイリスク児の搬送体制の実態調査に関する研究

— わが国の病院における新生児医療の現状と搬送体制に関する Preliminary report —

(分担研究：地域周産期医療システムの評価に関する研究)
研究協力者：柴田 隆

要約：わが国の病院（対象：1519病院）の新生児医療・搬送体制の実態をアンケート調査により把握した。回答は96%にあたる1457病院から得られた。新生児医療は、1133病院で行われていた。院外出生児の入院を取扱っているのは630病院であり、その中、新生児搬送体制のとられている病院は、210病院であった。搬送体制について'86年'91年'93年と3回の調査結果を比較検討したが、99病院では途中で搬送が中止されていた。特に、'91年に搬送を開始された125病院中、半数にあたる62病院で搬送が中止されており問題点として指摘した。'86年以来連続して搬送の行われている病院は、107病院であった。現在'93年現在で搬送の行われている210病院の搬送体制の実態を調査中である。

見出し語：新生児医療、新生児搬送体制

緒言：わが国の新生児医療に関する全国調査は、すでに石塚らにより3回に亘って報告されている。また新生児搬送体制についても、柴田が、'86年に調査し報告した。今回は、調査対象病院を拡げ、より適確に、わが国の新生児医療体制、搬送体制を把握し医療の経済性を含めての整合性のとれた理想とする周産期医療体制確立のための一助にしたいと考えている。

調査対象と調査方法：厚生省健康政策局総務課編による『病院要覧』1992年版に記載されている全国の一般病院の中から病床数100床以上で小児科および産科の標榜のある病院およびこども病院、産院等と小児科、産科いずれかの標榜はないが新生児医療の行われている病院とした。表1に、これらの病院数を示しているが、一般病院数は全国で8998病院あり、その中100床以上の病院

表1 全国の病院数

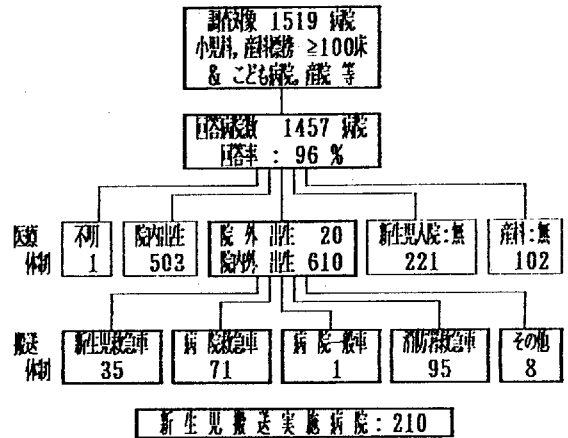
全国一般病院数 ≥100床/	小児科、産科標榜 ≥100床と 新生児搬送実施病院
4238/8998	1519

4238病院であり、すでに述べように、今回対象とした病院は、表に示す如く1519病院である。調査対象病院の小児科あるいは新生児医療の責任者の方々に新生児医療に関してその搬送体制を含めてのアンケートを送り回答を求めた。今回は、1次調査として行ったもので、その内容は簡単なものとしたが、2次調査に協力が得られるかどうかとも問い合わせた。

調査結果：図1にみるように現在までに1457病院（96%）から回答を得ている。院内外出生児の入院例のある病院が610、院外出生児のみの入院例のある病院は20、院内出生児のみの入院例のある病院は503であった。未熟児・新生児の入院を受入れていない病院が221あり、102病院では、現在、産科を閉鎖中との回答であった。尚、2次調査に協力が得られないとの回答が100病院からあった。図には、搬送体制についての結果も示すが、新生児救急車は35病院、病院救急車は71病院に備えられていた。病院一般車で搬送しているとの回答は、1病院であり、95病院では消防署救急車、8病院ではその他の車を利用して搬送が行われていた。わが国全体としては、図に示すように210病院で新生児搬送体制があるとの結果であった。

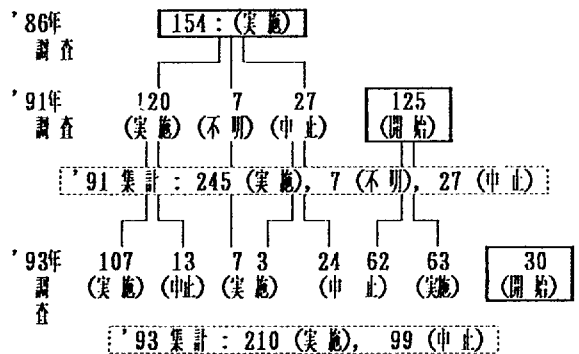
新生児の搬送体制については、過去に2回の調査を行っているが、それらの結果と比較したのが、図2である。搬送に使用される車についても調査してはいるが、本報告書の紙面の制限もありここではふれない。図にみられるように'86年には154病院、'91年には245病院と多くの病院で搬送体制がとられていたが、'93年には210病院と減少した。図を子細に検討してみると、'91年には125病院と多数の

図1 新生児医療・搬送体制の全国調査成績



病院で搬送が始められていたが、その約半数にあたる62病院で、'93年には中止されていた。'86年以後の3回の調査でいずれの年でも搬送体制のとられていたのは、107病院にすぎなかった。

図2 新生児搬送実施病院数の推移



それぞれの病院で種々の事情はあるが、搬送を途中で中止された病院が99病院と数多くみられており問題点の一つとしてとりあげられる。現在'93年に搬送体制のとられている210病院を対象に搬送に関する実態を調査中である。

結語：'93年の時点における、わが国の1457病院の新生児医療・搬送体制の調査からその実態を把握した。院外出生児の入院を扱う病院は、630病院で、その中の210病院で搬送体制がとられていた。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:わが国の病院(対象:1519 病院)の新生児医療・搬送体制の実態をアンケート調査により把握した。回答は 96%にあたる 1457 病院から得られた。新生児医療は、1133 病院で行われていた。院外出生児の入院を取扱っているのは 630 病院であり、その中、新生児搬送体制のとられている病院は、210 病院であった。搬送体制について'86 年'91 年'93 年と 3 回の調査結果を比較検討したが、99 病院では途中で搬送が中止されていた。特に、'91 年に搬送を開始された 125 病院中、半数にあたる 62 病院で搬送が中止されており問題点として指摘した。'86 年以来連続して搬送の行われている病院は、107 病院であった。現在'93 年現在で搬送の行われている 210 病院の搬送体制の実態を調査中である。